

研究結果報告書

所属 中山大学哲学系

役職 教授

氏名 廖 欽彬

【研究テーマ】

田辺元—その人と思

【研究結果】

本研究は「田辺元—その人と思」というテーマをもとに、1) 従来田辺元という人の研究の不足を補うこと、2) 田辺元という人を文献学的に考究することを通じてその人の全貌と思との関係を明らかにしようと試みた。田辺元に関する未だ整理・公開・研究されていないものを掘り起こして、田辺の生涯とその哲学・思想との関係を究明する作業を行うために、以下の三つの方向から資料調査を行った。

1) 竹田篤司の科研の研究課題である「新発見資料に基づく「京都学派」の基礎的研究—西田幾多郎から下村寅太郎まで」（1997-1999年）による研究成果報告書（『新発見資料に基づく「京都学派」の基礎的研究』）の調査。

2) 島雄元の「田辺元資料の整理報告(1)(2)(3)」(『長岡工業高等専門学校研究紀要』35巻収録)にある「田辺宛書簡」の調査。

3) 京都大学文学研究科図書館が保管している「田辺来信書簡を含む下村寅太郎遺稿集」（いわゆる下村文書）の調査。

以上の資料は3)の資料を除いて、すでに入手済みで、初歩的な読解と研究を行った。1)と2)の資料から、田辺元と下村寅太郎の戦後における往復書簡が集中されていることを知り、さらに調査を進めて『下村寅太郎著作集』月報1～8にある田辺の下村宛の書簡を入手し、その読解に取り組んだ。下村が『レオナルド・ダ・ヴィンチ』と『ヨーロッパ遍歴』を執筆した思想的な基盤と田辺哲学との連関、京都学派のヨーロッパ精神史研究ないしその影響に関する研究課題が重要である調査結果にたどり着いた。

以上を踏まえて、本研究は拙稿「形の論理—唐木順三と田辺元の制作をめぐって—」（『危機の時代と田辺哲学：田辺元没後60周年記念論集』に収録）に続いて、田辺元という人とその思想、田辺とその弟子との思想的影響関係とこれによる戦後の京都学派の思想的形成を研究論文「未完成の論理—田辺元と下村寅太郎の思想的連関—」（『求真』第29号）にまとめて出版した。

研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

「未完成の論理―田辺元と下村寅太郎の思想的連関―」・廖欽彬・田辺元生誕140周年記念シンポジウム・2024年8月27-30日・長野県(天狗の茶屋)

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

「未完成の論理―田辺元と下村寅太郎の思想的連関―」・廖欽彬・『求真』第29号・2024年8月・頁99-113

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等)